

審議会等の会議結果報告書

課所名

駅前交流テラスすわっチャオ

会議名	令和5年度 第2回諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ運営協議会
開催日時	令和6年 3月15日(金) 19時00分 ~ 20時08分
開催場所	諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ 会議室3
出席者	(出席者) 【会長】茅野恒夫氏 【副会長】中嶋博美氏 【委員】飯島千種氏、清水誠氏、浅井学氏、柳澤眞由美氏、加藤泰久氏、塚西文香氏 三輪教育長、細野教育次長、五味館長、片桐企画運営係長 【オブザーバー】草間良子教育委員 (欠席者) 宮坂友子氏 (傍聴者) 新聞記者 2社
資料	資料: 諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ条例・規則 資料: 令和5年度駅前交流テラスすわっチャオ運営状況について 資料: 令和6年度駅前交流テラスすわっチャオ施設運営について ほか

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1、開会

2、教育長あいさつ

3、協議事項

(1)令和5年度駅前交流テラスすわっチャオ運営状況について

- ・ 令和5年度の運営状況と入館者数の見込みの報告。令和6年度に100万人を到達する見込み。
- ・ 部屋ごとの使用率の報告。新型コロナ5類移行により、利用率が増加してきている。
- ・ すわっチャオの取組状況について4項目の説明と成果について
- ・ 令和6年3月に、すわっチャオで結婚式が行われた。いろいろ調度品を持ち込み、170名ほどで開催した。
- ・ 気軽に立ち寄る場所としての取組ということで、本日もエレベーター付近のところに展示をしている。今日は清陵高校の美術部の方の展示がされており、この後、この地域の4高校による写真展も企画がされている。

(2)令和6年度駅前交流テラスすわっチャオ施設運営について

<事務局より資料に基づき報告>

- ・ 来年度は令和6年5月18日で満5周年を迎える。5周年記念事業を計画している。
- ・ 令和6年4月から組織変更。現在、駅前交流テラスすわっチャオは、「課」として企画運営係と、放送大学系の2係を組織している部署になっている。4月からは「生涯学習課」の中に「すわっチャオ」という係ができる。そこに現在の我々の企画運営係と現在の生涯学習課の生涯学習係が統合して、すわっチャオに事務室を移動して、2係が一つの係として4月から組織を運営することになる。
- ・ 2点目。施設使用区分の時間帯区分とか時間帯の見直しによる使用料の変更。調理研修室とイベント等のフリースペース、イベントスペース、こちらの3スペースについて見直しを行う。
- ・ 3点目。申請手続きの変更。「施設予約システム」を導入して、4月1日から本格的に運用を開始する。変更

なる点は、4月1日からインターネットから予約ができるという点と、手書きによる申請書類を廃止する。

- ・4点目。職員の勤務時間の変更。遅番の勤務時間を9時45分から短縮して7時15分までの勤務ということに変更をする予定。なお7時15分から9時半以降の対応については、現在も一緒にやっているが、シルバー人材センター職員で対応する予定。
- ・5周年記念事業は、令和6年の5月18日土曜日に、1日の将棋イベントとして開催をする予定。今回、藤井聡太八冠の師匠である杉本昌隆8段と、長野県出身の唯一の棋士、田中悠一6段と女流の上田棋士を呼びして、1日イベントをやる予定。イベント自体は午前と午後で分かれており、午前中は子供の将棋大会を開催し、小学校の低学年の部、高学年の部、中学生の部ということで、3クラスをそれぞれ募集する。
- ・午後からは、こちらのプロ棋士の方にトークショーとかサイン会とか、あとプロ棋士との対局をしていただけるようなイベントの企画を予定している。こちらの参加については、基本的に申し込み制とするので、4月から募集を開始したい。

○前回の委員意見への対応状況

- ・前回の11月の運営協議会の中で、皆様方からいただいた意見に対する対応について
- ・1点目が連携や交流に関する事で、諏訪地域の4高校との連携の写真展や、セイコーエプソンさんと学生向けのアイデアソンみたいなイベントを、こちらの会場で今年度に開催した。6年度もここで開催予定で、民間の方も含めて、こちらの場でいろんな方と連携しながら事業を取り組めればと考えている。
- ・2点目がイベント企画に関してのアイデアについて。今年度「一箱古本市」を実施した。古本や本のイベントをベースに、ここで本を活用した取組が今後できればということで、イベントを発展的に考え、日々ちょっとした書棚を置いてみるなど、いろいろちょっと企画を考えていきたいと思う。
- ・3番目がスペース作り。主に小中学生向けということで意見をいただいた。現在も教育委員会と連携して、小中学生が参加するようなイベントを開催している。イベントをきっかけに施設を知ってもらい、親御さんと一緒に来てもらうことを今後も継続してやっていく。5周年記念事業も小・中学生向けの企画を考えている。

<質疑応答>

○委員

- ・令和6年度の入館者が累計で100万人になりそうということで、もし100万人達成した場合は、何かイベントを考えているか。
(事務局)
- ・式典は、今まで元年度のときには10万人とか20万人の節目で入館者の方をお迎えして、少し簡単なセレモニーをした。そのようなセレモニーができれば。

4. 意見交換

○委員

- ・今日、小学校の卒業式に行ってきた。卒業生が立派な歌を歌ってくれてとても感動した。そういう子供たちの歌声をここ(すわっチャオ)で地域の方々に聞いてもらうような場ができたらいと思う。地域のお年寄りに聞いていただくと、ちょっと元気が出てきていいのではないかな。ただお年寄りをここにお呼びするには、「かりんちゃんバス無料体験コラボ」みたいな計画を立てながら、すわっチャオに行ってみようみたいな企画で子どもとの交流をしていただくようなことができれば、世代交流ができていいのかなと思う。
- ・結婚式のお写真を見させていただいたが、170名の方たちのお料理とかもすわっチャオで用意されたのか。
(事務局)
- ・料理は、調理研修室をご利用し、調理したり温めたりして、基本は全て持ち込みでバイキングとかビュッフェという形式。

○委員

何かこういう企画もいろいろできると、食べたり飲んだりすることもできる、というのもうたい文句にすると
いろんなことができるという気がした。

○委員

- ・ コワーキングの関係でセミナーをやったり、動画の編集等、市の職員にご協力いただいて大変助かっている。
- ・ 資料の中にある地元企業との連携とか、私どもの賑わい創出とか、事業計画でうたっているの、何か会社の関係でコラボできるようなことがあれば、一緒にできるかと思うので、よろしくお願ひしたい。

○委員

- ・ お客様には二つのあるとして、一つが諏訪市民を呼ぶ方法。もう一つは、諏訪市民以外の方。この前こちらで開催された講演会に出席したら、静岡とか山梨から来ている人もいる。内容によっては遠くから来てくれるので、そういう方をどうやって集めるか。あと、最近観光客も多くなっているの、観光客をどうやってここへ連れてくるか。そこら辺を考えていければと思う。
- ・ 例えば、諏訪が非常に映画のロケ地として良いということ。今市役所のロビーでやっているが、もう少し大がかりなものをここでやれば、もっと人が集まるのではないか。また「かみがたりネットワーク（出雲市・糸魚川市・諏訪市）」もそこら辺をうまく活用すれば、何か方法があるのでは。

○委員

- ・ 資料を見させていただき、使用料収入が増加していることは、皆さんのご尽力の成果だろうと思う。200万円ぐらい増ということだが、主だった理由は何か。
(事務局)
- ・ 利用件数自体が増えているというのが一つ。加えて、営利利用によっては2倍とか料金をいただいており、その利用が増えているという2点が挙げられると思う。

○委員

- ・ 結婚式はどなたかが企画されたのか。一般企業の方がコーディネートされたのかとか、何かそういうものがあつたら教えていただければ。
(事務局)
- ・ 結婚式は、全く個人の方でご予約をされて、全て持ち込みで、お知り合いに専門の方か業者の方がおいでだったようで、その方を中心にセッティングを全てやっているという感じだった。

○委員

- ・ 年配の方からのお話で、「ここへ来てみたけれども、椅子が無くて学生さんがいっぱい、とても自分たちのいる環境ではなかったので帰ってしまった」ということを伺った。年配の方は使いづらいというか、輪の中に入りづらいのかなというふう感じた。(利用者が)大勢になると座れる椅子は無くなるか。
(事務局)
- ・ 今は少し落ち着いているが、特に試験時期には、高校生の皆さんが午後とか夕方になると、びっしりということもある。子供・大人優先の席も設けており、テーブルの上に「大人の方優先です」とご案内をさせてもらっているが、全体の人数が増えと一杯になってしまうということもあるため、課題として考えたい。

○委員

テーブルに書いてあるだけだと、来た方はテーブルを見ないので、私達ここに座ってもいいんだなっていうの

が伝わりにくいのではないかと思います。また、もし会議室が空いていれば、その会議室の椅子をフロアに出しておくとか、高齢の方が来たときに声をかけていただくとか、少し配慮してもらえればと思う。

- ・ 手続は完全に手書きを廃止ということか。

(事務局)

- ・ 通常の申請については、システムで様式を出し、サインだけいただくので、そういう形に変えていく予定。変更や取り消しについては、若干手書きが残るが、基本的な申請は全部システムから出た書類で行う予定。

○委員

- ・ 利用者数とか利用料を「見える化」していただきたい。そういうことに取り組まれた点は、今後利用率をさらに高めるための「予約システム」の導入など、運営協議会が機能していることの表れであると感じている。
- ・ 令和6年度に向けて申し上げたい点2点を考えて来た。1点目、既に満足度調査みたいなアンケートを取っているかも知れないが、無作為に取る場合が多いので、できるだけ有料の利用者にアンケートを取ったほうが良いのでは。何か要望とか、そういうことを書けるようなものがあったら良いのではないかと思います。
- ・ 2点目、令和6年度から組織変更で「生涯学習課」という名前になることによって、新たな人流がここに生まれるのかなと思う。今、観光目線だけではなくて、やはり移住・定住というのは別の角度の話もあり、関係人口の拡大に取り組む上では、人と人の接点を作っていくことが大事な取組だと思う。県との連携と考えると、建設部のほうでやっている「未来ビジョン」などもあるので、そういう横断的な取組を導入してもらい、また新たな人流が生まれて、移住定住にも繋がるような流れができて面白いのではないかと。

○委員

- ・ 私は温泉寺の子ども食堂のスタッフとして働いている。一番最初にボランティアとして来てくださったのが、上中生。それがもう4年くらいになる。大体10名前後の子供たちが毎回お手伝いに来てくれる。今度は清陵の中学生がボランティアをやってくれるが、僕たちは子供たちに何かできることがあるか、と考えたときに勉強を教えることができる、という話になった。小学校の夏休み、冬休み、春休みに、子ども食堂ではなくて、この場所をお借りして、中学生（清陵生）に投げかけてみたらどうなるか。要するに、すわっちゃオで中学生が小・中学生を募集すれば、誰でも来ていいよと集めれば、そういうことは可能になるか。

(事務局)

- ・ 我々が直接にということは、すぐは難しいと思う。そういうイベントというか行事として、どこかが主体になってやるのか、そこを整理した上で検討することは可能かと思う。

○委員

- ・ 正直言うと、子ども食堂では無理かなという気持ち。時間が短いということと、保育園児もかなりいる。それで小学生が50人くらい。あとはその中学生のボランティア。果たして、勉強を見てもらう、と言って来る子がいるのかなとか、その前準備はどうなるのかなとか、今模索している最中。もし、中学生たちが本当に子供たちの勉強を見てあげたいという意味の下で言っているとすれば、それも受けてあげたい。中学生をそちらのほうへ少しずつ振って、中学生で話してもらったほうがこのことはうまくいくか、と今思ったので、相談した。

(教育長)

- ・ 例えば、上諏訪中学校や諏訪中学校で、夏休みに高校生が来て中学校を会場として勉強しているというのは、もう何年も続いてやっている。これは中学生のほう为主体になり声をかけて、高校のほうがそれを受けて生徒に紹介し、そしてそれに乗ってきた生徒が中学校に行くというものがある。
- ・ 小学校にも例えば上諏訪小学校の夏休みに上中生が行って勉強しているという、これも何年も続いてやっている形。これはどちらかというと、上諏訪中学校の生徒が小学校に「勉強やらない？」と、声かけをする。だか

らどこかが声をかけ、もし今の話に清陵中学校の生徒がやりたいということであれば、自分たちで事業を興してやるという、そういう力が大事だと思う。何かに乗っかるというよりも自分たちでその事業として立ち上げて、そしてこの会場で使いたいのであれば、会場を使えるかどうかということも含めて相談をかけてやっていく。つまりこちらから何か書いてあるから、みたいなことではなくて、自分たちから起業ではないが、そういうマインドを育てたほうがいいんじゃないかということは、個人的に思っている。

○委員

- ・高校生が占拠することで他の方が使えないということであってはまずいと思うので、例えばゾーンだとか時間帯で、何とかそこはすみ分けができるような環境を作っていたらありがたい。
- ・すわっちゃオという場所は、地域の方や企業などと交流ができる素晴らしい場所と思っている。学校に来ていただいて学校で交流することももちろん良いが、駅前の大変素晴らしい利便性の高いところに出会って参加することによって、学校に来ていただくときよりも、生徒の様子を見てみると、緊張感を持って少し自立してやってみようとも思った。そういう機会を頂戴できれば積極的に利用していきたいというのが私の思い。
- ・これはまだアイデア段階だが、諏訪実業高校で「諏実タウン」という行事を10月頃にやっている。商業科の生徒が販売実習みたいなことを学校でやっているが、なかなか人が来てくれない状況がある。アイデアの一つにすわっちゃオをお借りして、そういう使い方をご理解・ご支援をいただければ学校にとっても大変ありがたいことだと思う。施設のな面、それから金銭的な面でそういうご支援をいただけたら大変ありがたい。諏訪実業に限らず、他の高校もクラブとか、発表とかニーズはあると思うので、ご支援いただける体制が今もあるとは思いますが、少しずつ実績も作って、気軽に移行できるような形になればいいなと思っている。

○委員

- ・今回、6年4月から予約システムが変わるということで、利用者が予約を取りやすくなる人もいるし、取りづらくなるというイメージもあったようだが、ネットで予約が取れる+窓口でも引き続き予約は取れるので、広がるかなとは思っている。ネットで予約が取れるようになると、また更に利用者が増えると思う。また窓口業務も簡素化されるので、先ほどご指摘あった高齢者の方のお見逃しをしないように、目が行き渡りやすくなると思うし、それ以外にも安全や衛生管理にも意識が向けられると思うので、その辺も期待できると思う。
- ・生涯学習課のメンバーも一緒に運営するようになるので、雰囲気も一新すると思う。新たな発想のイベントも生まれると思うので、今後がとても楽しみ。
- ・前回の諏実タウンにも参加させてもらい、多世代の方がたくさん学校に来て、保育園の子たちも参加していたので、すわっちゃオの目的である多世代交流というのが、コラボでさらに大きくできるのではないかなと思った。今後、またお力になればと思うので、コラボしてもらえたらと思う。

5、その他

○教育委員

- ・毎回、皆さんのご意見を聞いて、すごいアイデアがたくさんあって、とてもありがたいなと感じている。今回も施設の利用料の区分の見直しとか、予約システムの改定で、ますます多世代あるいは広い地域に広がっていくのだろうと感じた。また今後ともよろしく願いたい。

6、閉会

以上